

**EYELA**冷却トラップ  
装 置**ユニットラップ****取扱説明書**UT-50 型  
UT-50L型  
UT-80 型  
UT-80S型**重要**

製品の機能を維持し、安全にご使用いただくために重要な事項を記載しています。

**特に「安全に関する注意事項」は  
ご使用前に必ずご精読ください。**

取扱説明書はいつでも利用できるよう、製品の近くに大切に保管してください。



# 安全上の大切なお知らせ

## 1. 警告のシグナルワード

この製品は引火性、可燃性溶液を吸引したり冷却液として使用しますと取扱いを誤った場合に、思わぬ怪我や事故を起こす場合があります。また機能・特性上、高い室温での運転は性能低下、故障の原因になります。

しかし、それらについて予め知っていれば、こうした事故の大部分を防ぐことができます。

そのために、この取扱説明書では、それらの安全上特に注意すべき事項についての情報を、その重要度や危険度によって、下記のように定義し、アラートマークとシグナルワードを付しています。これらの指示に従って、安全にご使用いただくようお願いいたします。

アラートマーク シグナルワード	定義
 <b>警告</b>	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される。
 <b>注意</b>	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定される。

弊社では、製品の使用上起こりうる危険について十分に検討をしていますが、あらゆる危険を予知することは極めて困難です。従って本書で述べている注意事項が、必ずしもすべての危険を説明しているわけではありません。

しかし、本書に記している取扱方法を行えば、より安全に運転・作業が行なえます。

この製品の取扱いにあたっては、必ず細心の注意をはらい、事故や製品の故障が起こらないように心掛けてください。

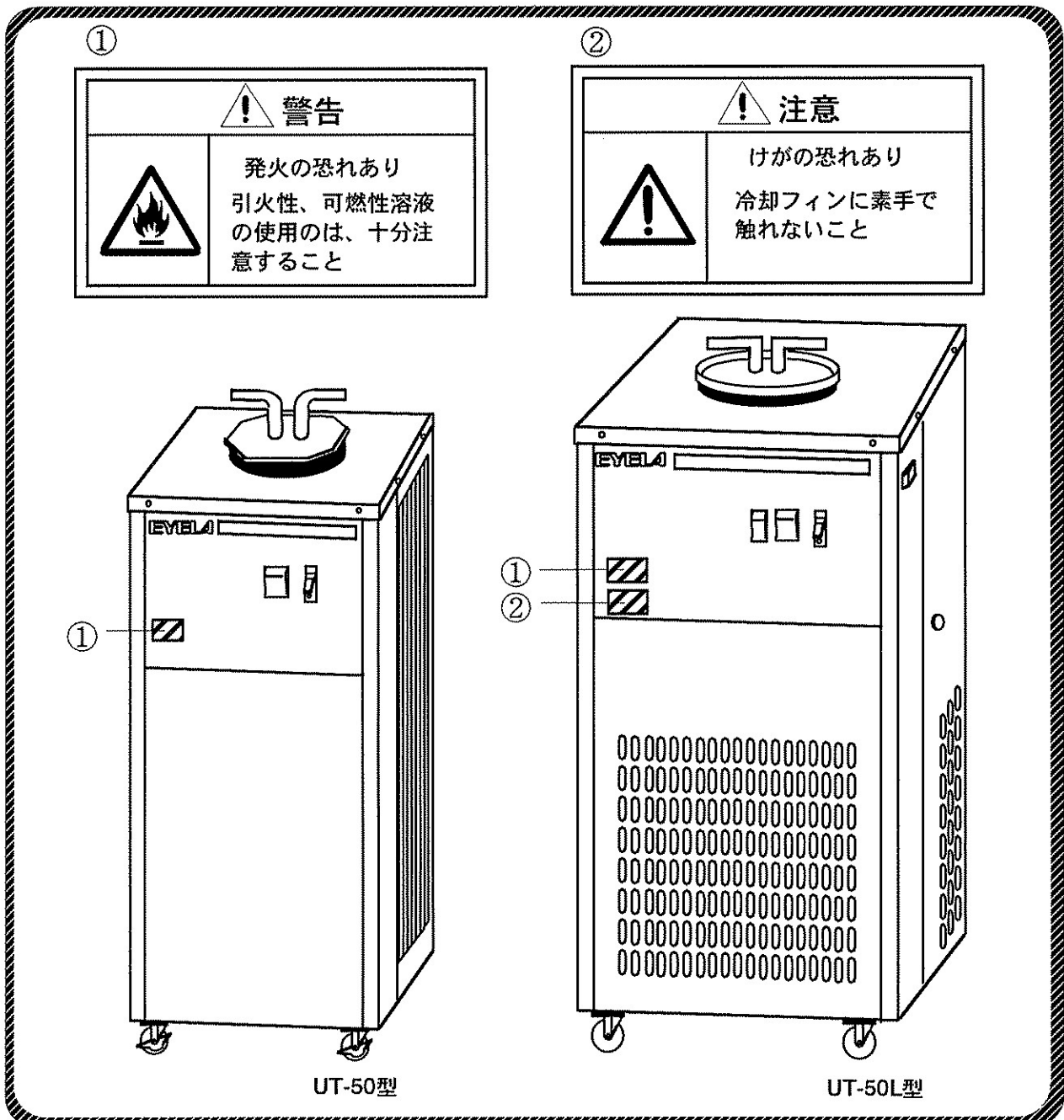
## 2. 製品への警告表示

警告事項の中で、特に重要なものについては警告ラベルを製品本体に貼付しています。

位置は下図のとおりです。

ご使用の際には、警告内容について十分ご注意ください。


※警告ラベルが損傷などで読みにくくなった場合は、新しいものと交換してお貼りください。  
交換用ラベルは弊社宛にご請求ください。

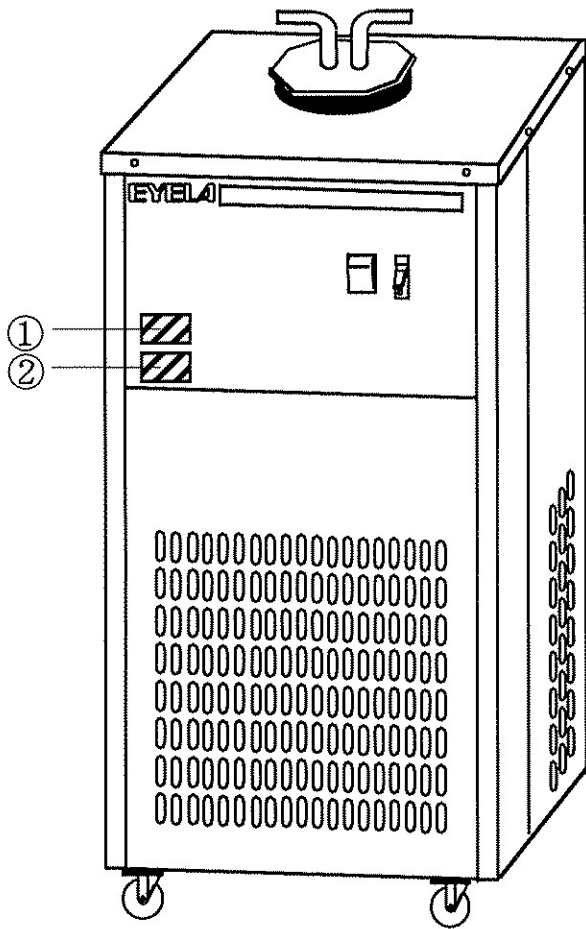


①

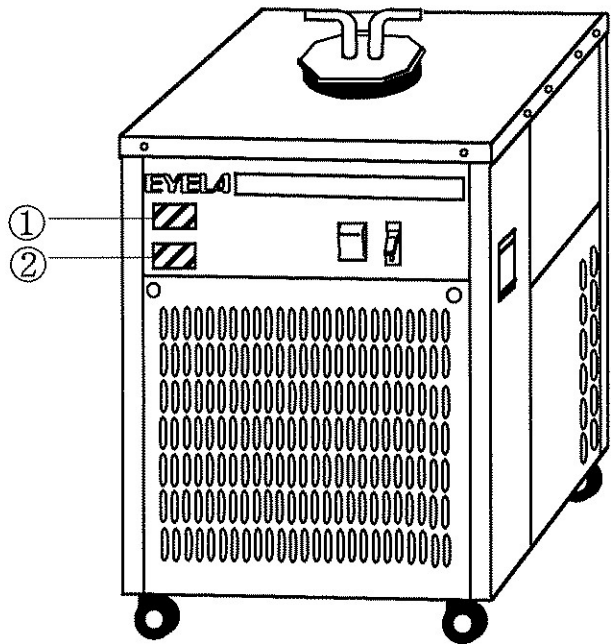
<b>⚠ 警告</b>	
	発火の恐れあり 引火性、可燃性溶液 の使用には、十分注 意すること

②

<b>⚠ 注意</b>	
	けがの恐れあり 冷却フィンに素手で 触れないこと



UT-80型



UT-80S型

このたびは  
**EYELA** 製品をお買上げいただきまして  
 誠にありがとうございます。

## はじめに

この取扱説明書は、  
 冷却トラップ装置  
 UT-50型  
 UT-50L型  
 UT-80型  
 UT-80S型

の設置、運転、トラブル対策、保守・点検、廃棄の  
 手順を説明したものです。  
 ご使用前に必ずこの説明書をよく読んで理解して  
 から、取扱ってください。

## 目次

1. 安全にご使用いただくために	1	5. 操作	
2. 製品の概要		5-1 操作準備	12
2-1 用途	2	5-2 操作方法	13
2-2 仕様	2	5-3 ガラスコンデンサセット (オプション)の操作方法	15
2-3 冷却曲線	3	6. トラブルの原因と対策	17
2-4 各部の名称	6	7. 保守・点検	
3. 安全機能		7-1 漏電ブレーカの動作テスト	18
3-1 操作部の名称と機能	8	7-2 製品の清掃、お手入れ	18
3-2 安全機能	8	8. 製品の廃棄	20
4. 設置		9. アフターサービス	20
4-1 設置環境	9		
4-2 設置条件	9		
4-3 設置	10		
4-4 ユーティリティーの接続	10		

## 梱包内容明細

セットする前に必ず部品の種類と数量を確認してください。  
 真空ホースは別売りです。別途ご用意ください。

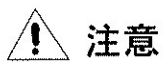
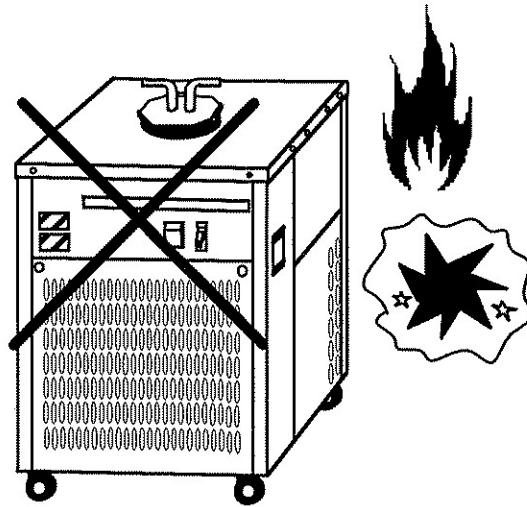
梱包内容	製品	UT-	
		50・80・80S型	50L型
1	本体	1	1
2	接地アダプター	1	1
3	キャスターホルダー	4	4
4	取扱説明書	1	1
5	保証書	1	1

この製品は防爆構造ではありませんので  
安全には十分お気をつけください。



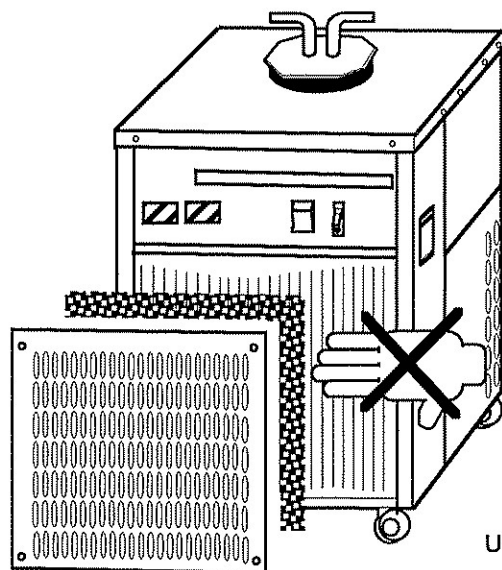
### 引火性、可燃性溶液の使用には、 十分注意すること。

引火性、可燃性溶液（メタノール等）は室温以上  
（溶液によっては、それ以下）で放置しますと気  
化し、何等かの点火源により発火、爆発の恐れが  
あります。  
使用にあたっては、換気を行ない十分注意してください。



### 冷却フィンに素手で触れないこと。

保守作業時に冷却フィンに素手で触れないでくだ  
さい。冷却フィンは鋭利なため手を切る恐れがあ  
ります。



UT-80S型

## 2 製品の概要

### 2-1 用途



**警告**

製品を改造しないこと。  
用途以外の使用をしないこと。

改造や本来の用途以外に使用すると感電事故や、故障する恐れがあります。

この製品は真空乾燥機や減圧濃縮装置などから排気される水蒸気や有害蒸気を真空系内で効率よく捕集し、真空ポンプを保護する装置です。  
オプションのガラストラップを使用すれば、酸系、有機溶媒系の蒸気も保集できます。

### 2-2 仕様

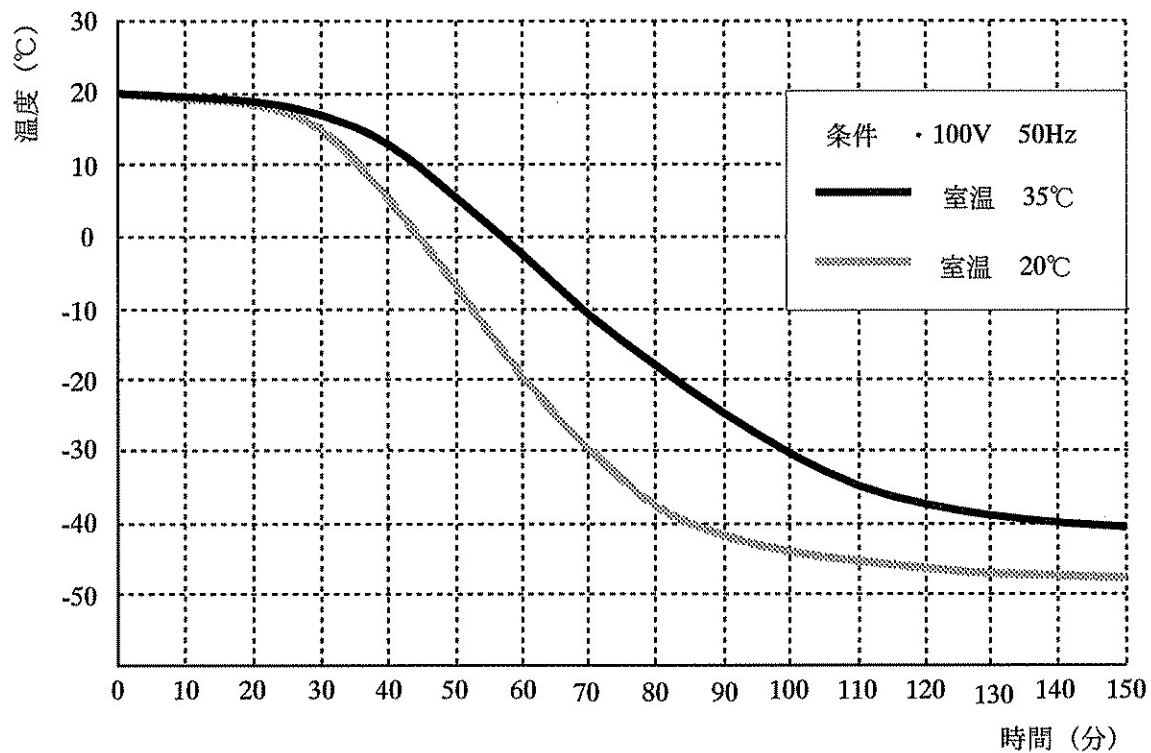
製品名		冷却トラップ装置 (ユニットラップ)			
型式		UT-50	UT-50L	UT-80	UT-80S
トラップ方式		直接トラップ ガラストラップ			
性能	除湿容量	Max. 0.9kg (水系)	Max. 4kg (水系)	Max. 0.8kg (水系)	
	最低到達温度	-45℃		-80℃	
機能	最低温度到達時間	20→-45℃ 27分以内	20→-45℃ 20分以内	20→-80℃ 25分以内	
	トラップ解氷	—	ホットガスによる解氷	—	—
構成	冷凍機	空冷式出力300W	空冷式出力600W	空冷式出力350W 空冷式出力350W	空冷式出力350W 空冷式出力350W
	冷却コイル	内径90mm (SUS 304)	—	内径90mm (SUS 304)	
規格	ノズル付蓋 (オプション)	ステンレス製 (SUS 304)		ステンレス製 (SUS 304)	
	接続口径	直接トラップ 外径17.3mm ガラストラップ 外径13mm	直接トラップ 外径21.7mm ガラストラップ 外径13mm	直接トラップ 外径17.3mm ガラストラップ 外径13mm	
規格	槽内寸法 (mm)	直径153×225深さ	直径200×300深さ	直径153×225深さ	
	トラップ槽容量	約4ℓ	約9.4ℓ	約4ℓ	
	使用周囲温度範囲	5~35℃	5~30℃		
規格	外寸法 (蓋付)	306×325×700	405×455×853	405×455×850	405×695×550
	幅×奥行×高さ (mm)	(306×325×769)	(405×455×898)	(405×455×919)	(405×695×619)
重量	約29kg	約50kg	約56kg		
電源入力	6A、600VA	7A、700VA	10A、1kVA	10A、1.0kVA	
定格電源	AC-100V 50/60Hz				

※性能は室温20℃、定格電源電圧、50Hz、無負荷時、蓋付の時の値です。

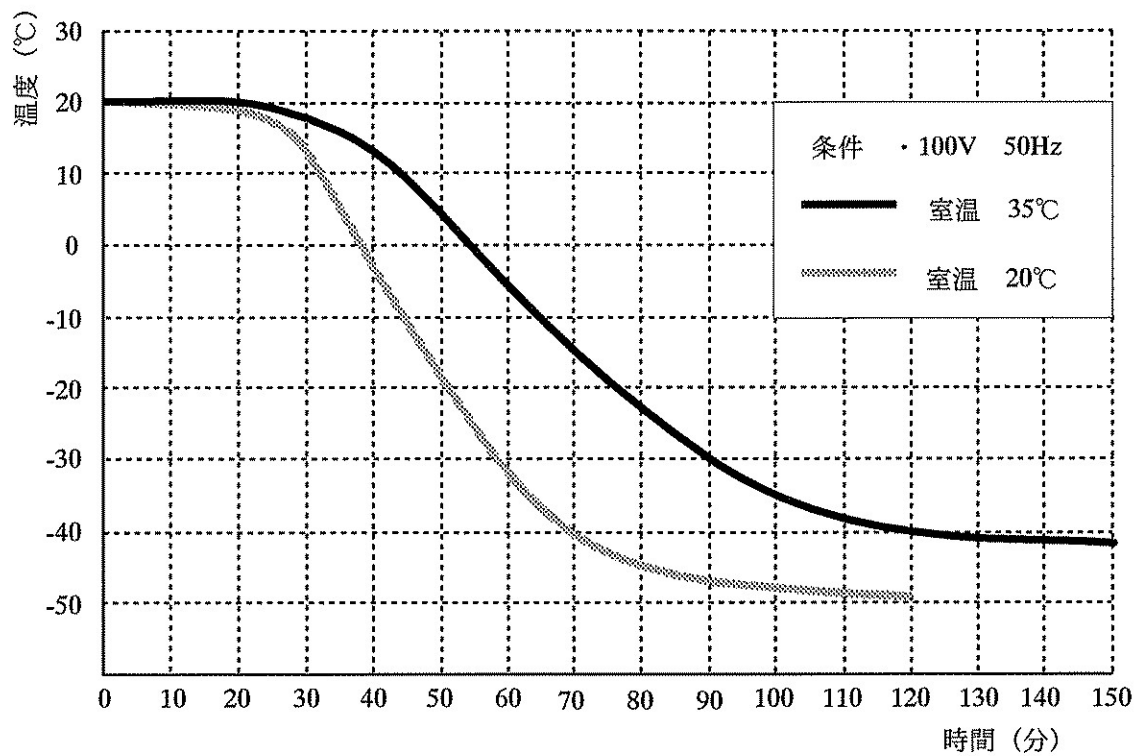
## 2-3 冷却曲線

UT-50型

■メタノール 3Ω

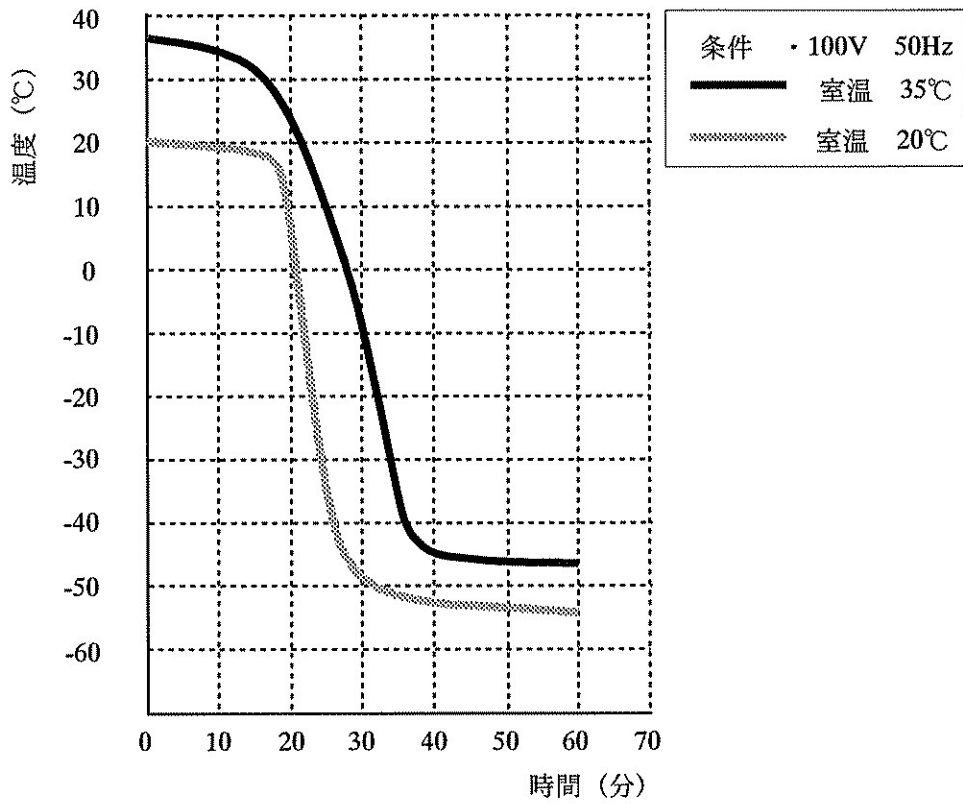


■メタノール 2.2Ω・ガラスコンデンサ



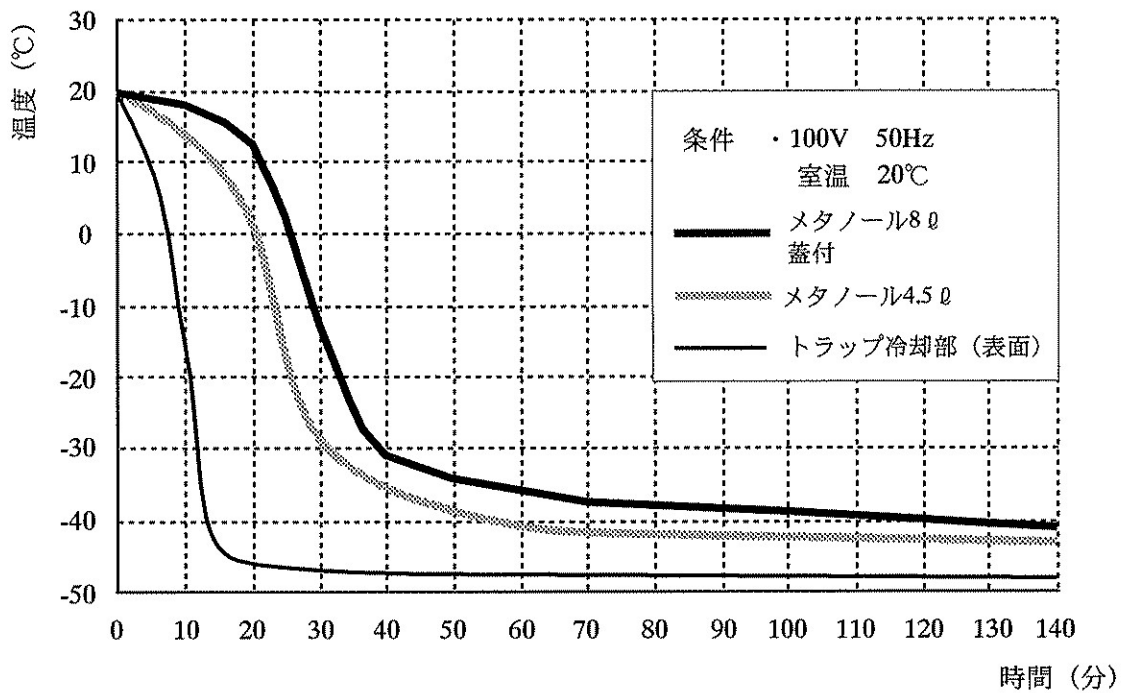


■トランプ冷却部（表面）

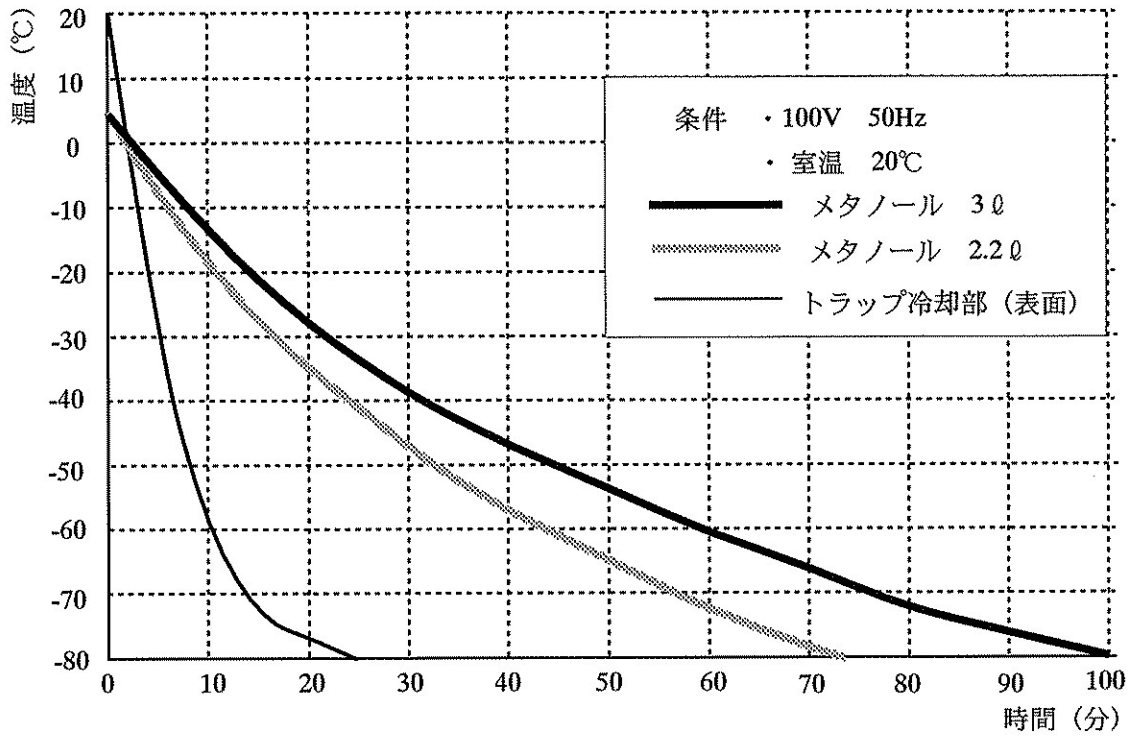


UT-50L型

■メタノール 8ℓ・4.5ℓ・トランプ冷却部（表面）

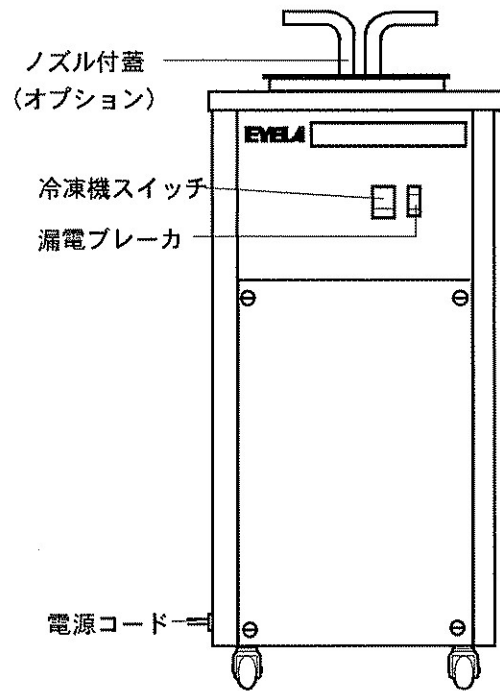
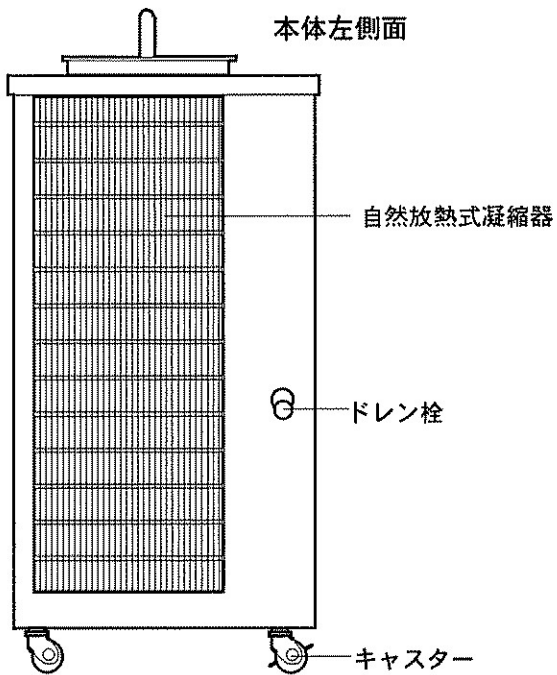


■メタノール 30・2.20・トラップ冷却部（表面）

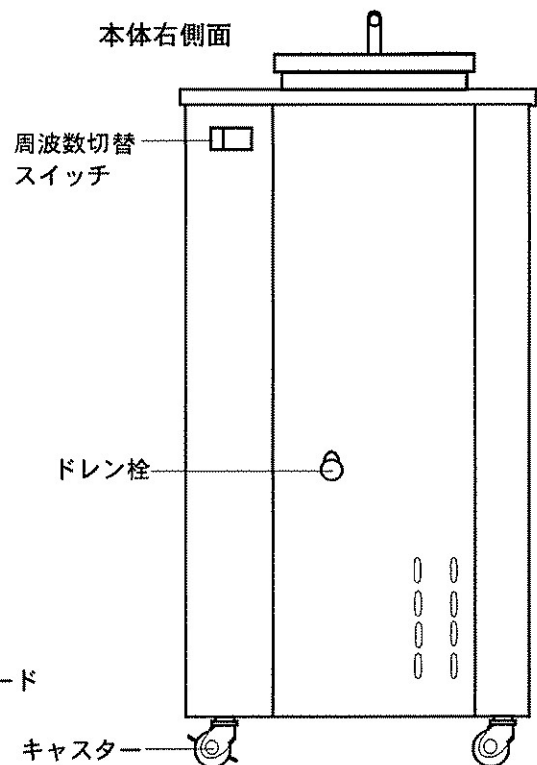
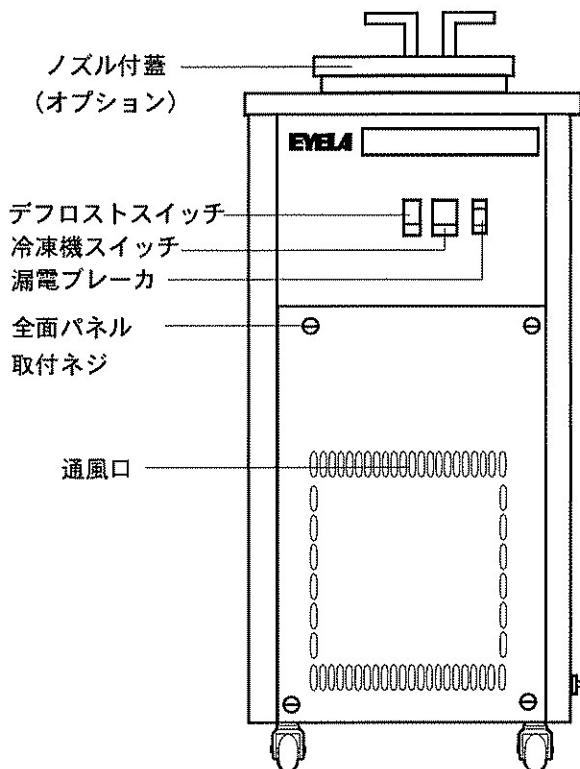


## 2-4 各部の名称

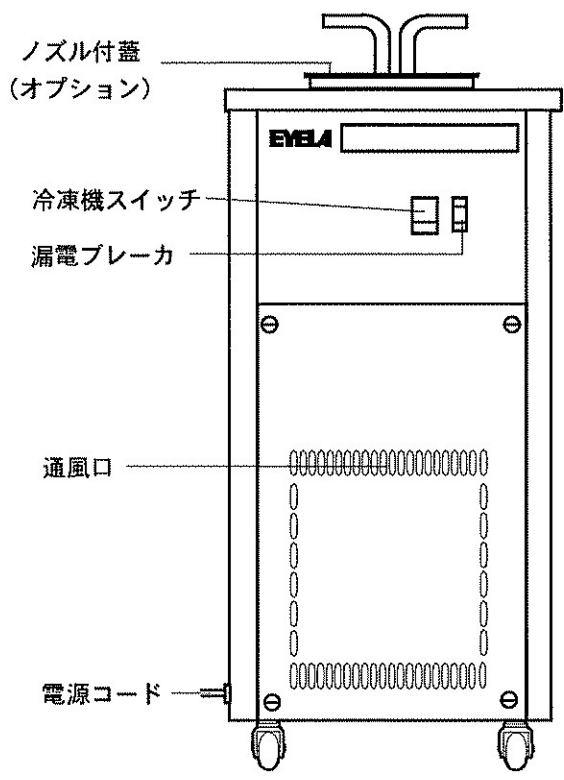
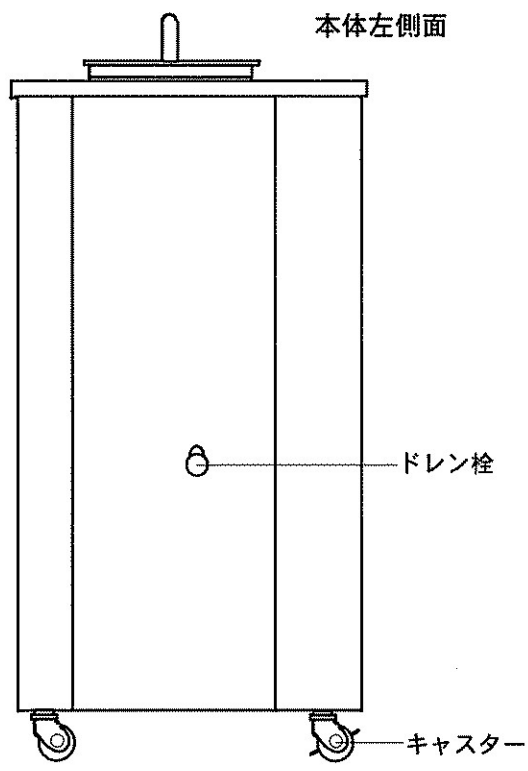
UT-50型



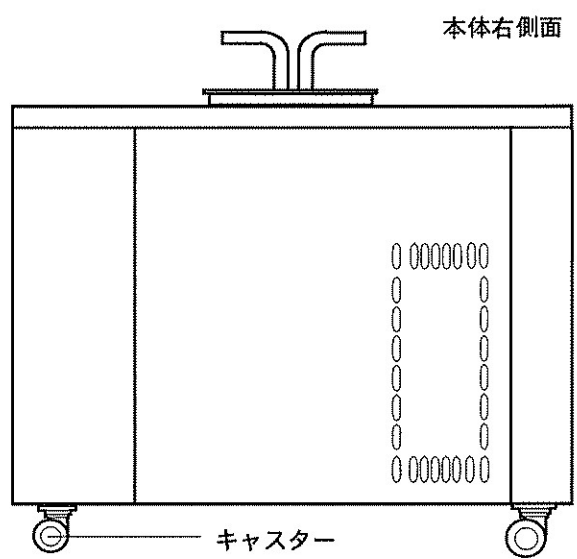
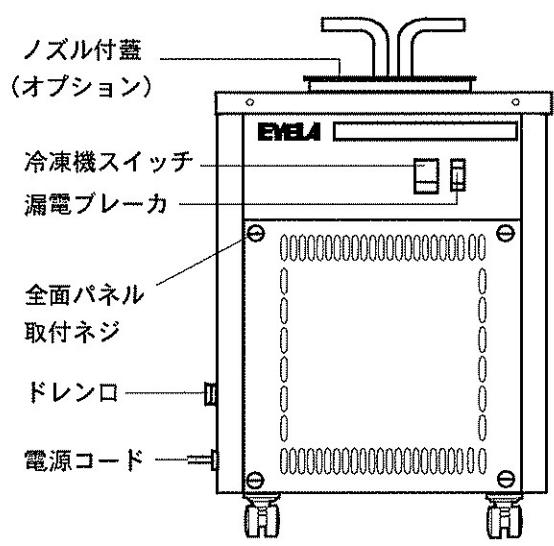
UT-50L型



UT-80型



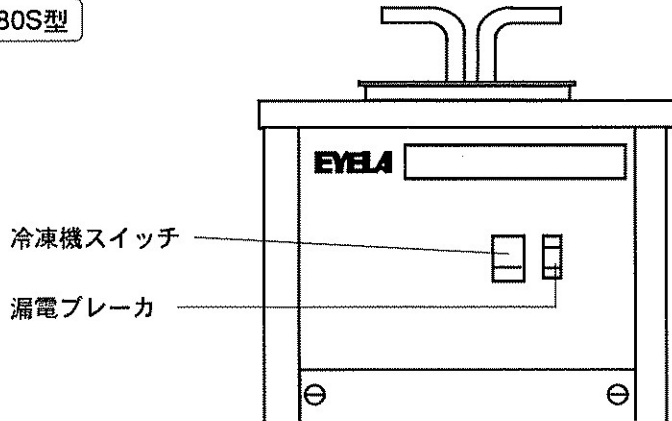
UT-80S型



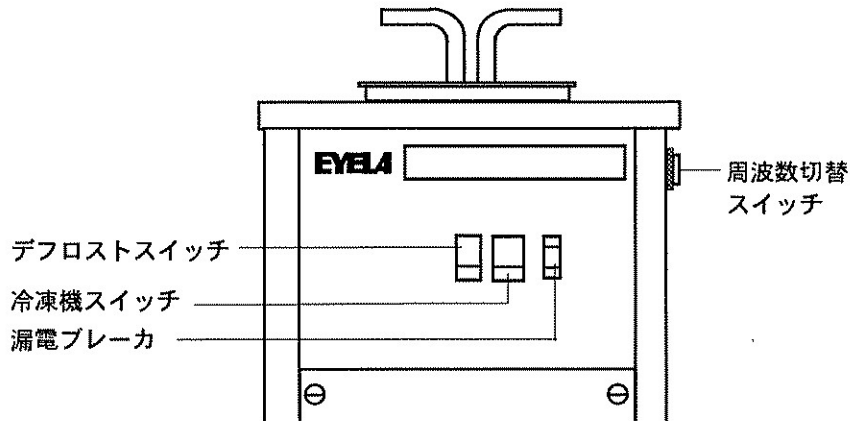
### 3 操作部の機能と名称

#### 3-1 操作パネル

UT-50・80・80S型



UT-50L型



名 称	機 能
漏電ブレーカ	電源スイッチです。ONにするとファンが回転を始めます。
冷凍機スイッチ	このスイッチをONにすると冷凍機が作動します。
デフロストスイッチ	このスイッチをONにしてトラップ内壁に付着した氷を解かします。
周波数切替スイッチ	このスイッチでご使用地域の周波数に合わせます。

#### 3-2 安全機能

この製品は下記のような安全機能を備えています。  
異常が発生した場合は、P.17の「トラブルの原因と対策」を参照して適切な処置を行なってください。

##### 安全機能

安全装置	動作内容	動作原因
漏電ブレーカ	OFFになり電源を遮断します。	漏電している。または過電流が流れた。

## 4 設置

### 4-1 設置環境



**注意**

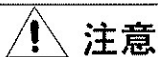
設置場所、空調、換気には十分注意すること。

この製品は空冷式冷凍機を使用していますので、装置からの排熱があります。排熱により周囲温度が高くならないように換気が十分な場所、または空調された場所で使用してください。周囲温度が高くなると運転効率が低下し冷却能力が低下します。さらに冷凍機などが高温・高圧運転になり故障の原因にもなります。

製品を設置する際は、次のような場所を選んでください。

- 風通しのよいところ。または十分に換気のできる場所。
- 直射日光の当たらないところ。
- 周囲温度を5～30℃（UT-50型は5～35℃）以内に保てる場所。
- 近くに可燃性の固体、液体、気体のないところ。
- 結露しないところ。
- 湿気の少ないところ、水滴のかからないところ。
- ホコリの少ないところ。
- 水平で安定したところ。  
(製品の運転時の重量を確認してください。)

### 4-2 設置条件



**注意**

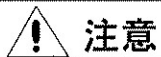
装置周囲にスペースを確保すること。

製品の性能を維持するため、製品と壁面、天井面などとの間隔は図のような間隔以上を必ず確保してください。



**注意**

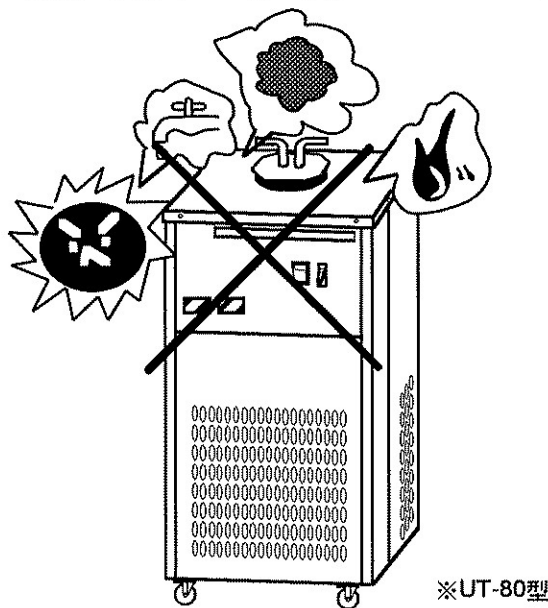
本体上部には物を置かないこと。



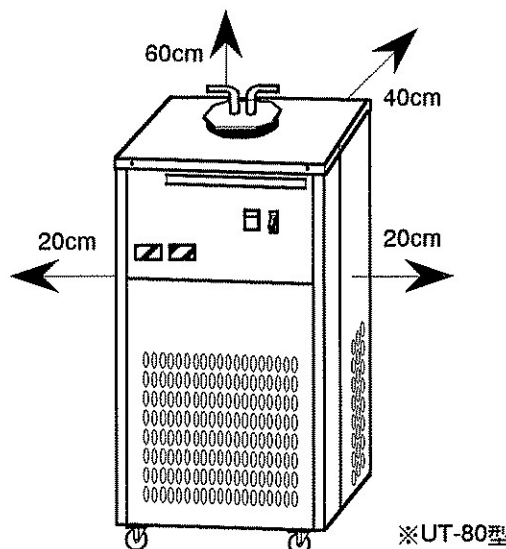
**注意**

重量製品のため運搬に注意すること。

- UT-50 型 (約29kg)
- UT-50L 型 (約50kg)
- UT-80 型 (約56kg)
- UT-80S 型 (約56kg)



※UT-80型



※UT-80型

### 4-3 設置



注意

本体を傾けないこと。

本装置には冷凍機が搭載されています。  
本体を横に倒したり、傾けての移動は行なわないでください。

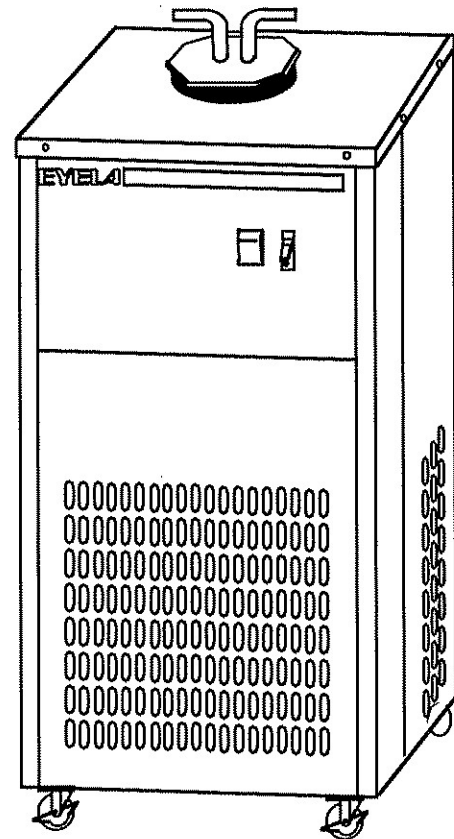
- (1) キャスターのストッパーのロックを解除してください。  
キャスターのストッパーのレバーを押し上げるとロックが解除されます。  
(本体前面のキャスター2個のみがストッパー付きです。)

- (2) 設置場所へ移動させてください。

※段差ある場所を移動させますと、キャスターに過度の衝撃が加わり、破損する恐れがあります。  
このような場合は持ち上げて移動してください。

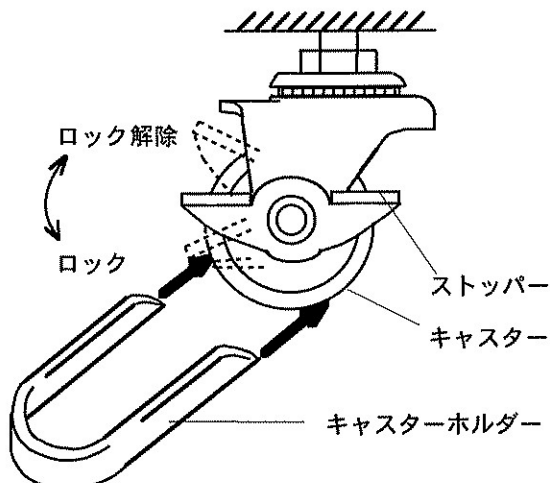
- (3) 設置場所が決まったらキャスターのストッパーのレバーを押し下げてロックしてください。

- (4) 付属のキャスターホルダー（4個）を車輪の真横から差込んでキャスターの回転と旋回を止め固定してください。

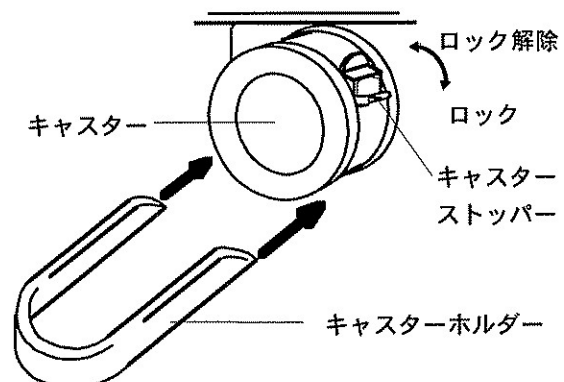


※UT-80型

UT-50・50L・80型



UT-80S型



## 4-4 ユーティリティの接続

### 警告

電源の電圧、相、容量、  
コンセントの種類を確認すること。  
電源接続を誤りますと火災や感電事故の  
原因になります。

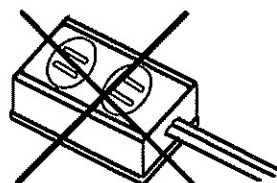
### 警告

分岐ソケットやテーブルタップを  
使用しないこと。  
過電流などによるケーブルの焼損、火災  
などが発生する恐れがあります。

- (1) 製品の型式と接続する電源の電圧、相、容量  
を確認してください。  
製品を接続する電源は右のとおりです。

### 警告

アース線を正しく接続すること。  
感電事故防止のため、ガス管や水道管に  
は絶対にアース線を接続しないでください。

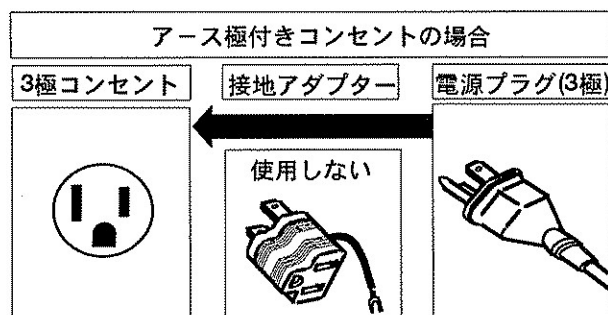


#### 接続に必要な電源

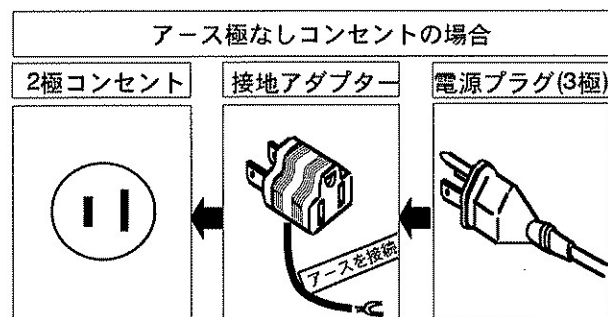
電 圧	容 量
AC-100V	15A

- (2) 設置場所のコンセントを確認してください。  
(ここではまだ電源プラグを接続しないで  
ください。)

アース極付きコンセントの場合は、電源プラグ  
がそのまま使用できます。



アース極のないコンセントの場合は、電源プラグ  
に接地アダプターをセットします。  
アダプターのアース線を第3種接地工事による  
アースに接続してください。



電源に接続する際、分岐ソケットやテーブル  
タップを使用しないでください。



# 5 操 作

## 5-1 操作準備



### 警告

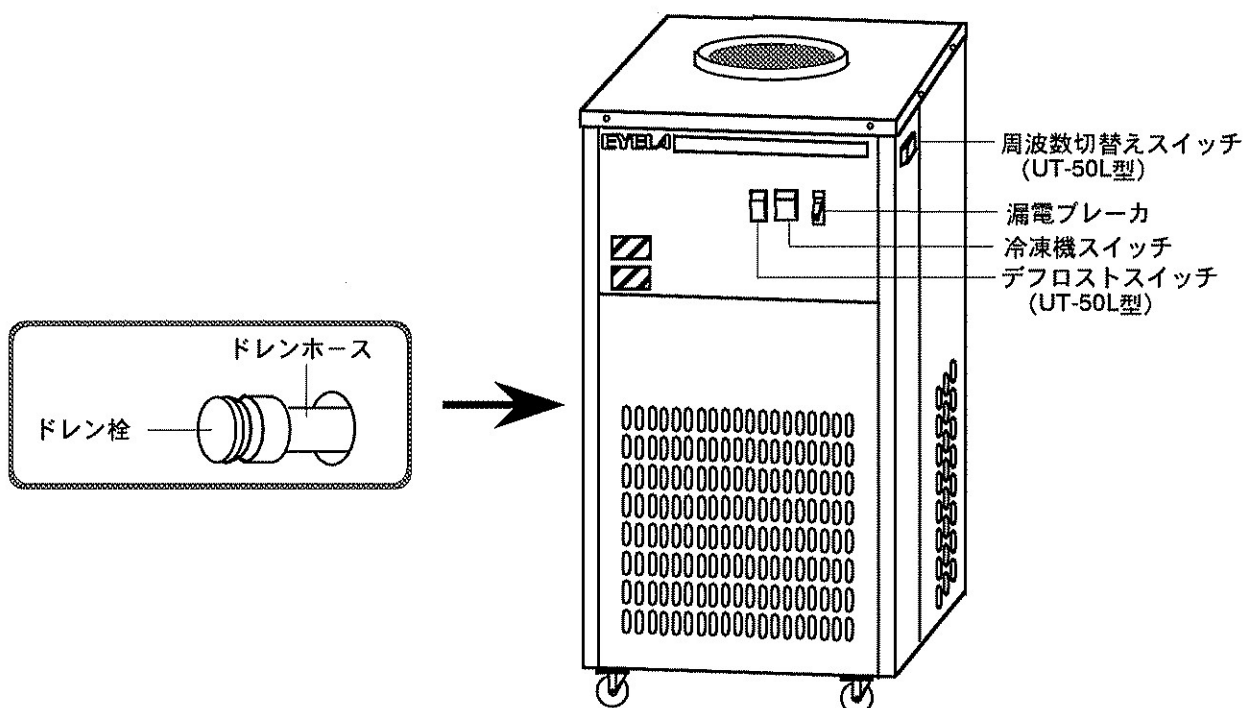
引火性、可燃性溶液の使用には、  
十分注意すること。

引火性、可燃性溶液（メタノール等）は室温以上（溶液によっては、それ以下）で放置しますと気化し、何等かの点火源により発火、爆発の恐れがあります。

使用にあたっては、換気を行ない十分注意してください。

### 1. ドレン栓の確認

ドレン栓がはずれていないことを確認してください。



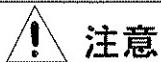
### 2. 電源プラグの接続

漏電ブレーカ、冷凍機スイッチがOFFになっていることを確認して電源プラグをコンセントに差込んでください。

### 3. 周波数切替えスイッチのセット【UT-50L型】

周波数切替えスイッチをご使用地域の周波数にセットしてください。

## 5-2 操作方法



**注意**

異常があったら使用を中止すること。

異常があった場合はただちに漏電ブレーカをOFFにして「トラブルの原因と対策」の頁を参照してください。



**注意**

冷却コイル、トラップ槽の不凍液には触れないこと。

運転中および運転後しばらくは冷却コイルやトラップ槽の不凍液は低温になりますので触れると凍傷になる恐れがあります。

トラップする液が水系の場合は、以下をご精読ください。

また、酸や有機溶媒系の場合は、ガラスコンデンサセットをご使用ください。（P.15参照）

### 1. 冷凍機の運転

- (1) 漏電ブレーカをONにしてください。  
冷凍機ファン（UT-50は除く）が作動します。
- (2) 冷凍機スイッチをONにしてください。  
冷凍機が作動します。

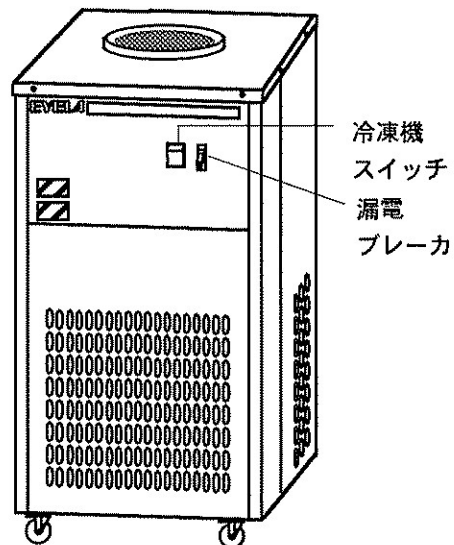
※運転初期や周囲環境温度などにより冷凍機の起動音が高くなる場合がありますが異常ではありません。

#### UT-50・50L型

作動後約7分位でトラップ槽の冷却コイルが（UT-50L型は缶体内壁）冷却を始めて着霜します。（周囲温度により異なります。）

#### UT-80・80S

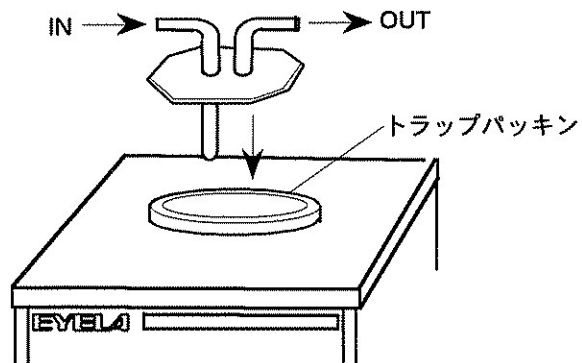
冷凍サイクルが一元側と二元側の2系列あります最初に一元側が作動し約7分後に二元側も作動します。  
冷却コイルは二元側が作動するまで冷却を始めません。



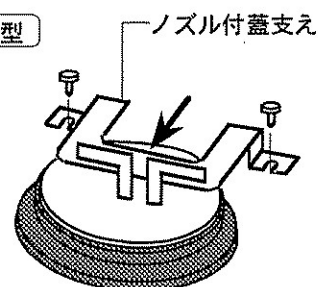
### 2. ノズル付蓋（オプション）のセット

- (1) トラップパッキンやノズル付蓋に傷やゴミ等が付着していないことを確認してください。  
※ 傷やゴミ等があるとトラップ槽内の真空度が悪くなりトラップ効率が悪くなります。
- (2) ノズル付蓋をトラップパッキンの上に「IN」、  
「OUT」のノズル方向を確認しながら静かにのせてください。  
※ ノズル付蓋をセット後、トラップパッキンに十分密着していないと真空漏れを起こす原因になります。
- (3) UT-50L型はノズル付蓋支えによりノズル付蓋を固定してください。（右図を参照）

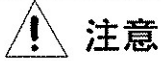
#### UT-50・80・80S型



#### UT-50L型

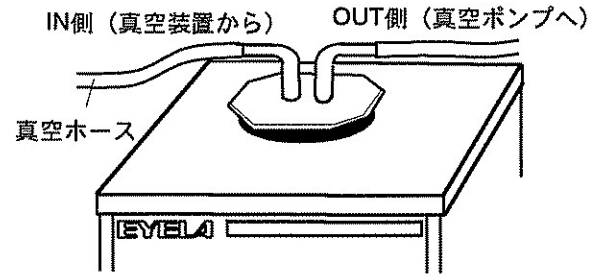


### 3. 真空ホースの接続



**冷却コイルが十分冷えないうちに接続、吸引を行なわないこと。**

冷却コイルが十分冷却されないうちに真空系と接続して吸引しないでください。トラップされない有害ガスで真空ポンプを損傷させる恐れがあります。



ノズル付蓋の「IN」側は真空装置と、「OUT」側は真空ポンプとそれぞれ真空ホースで接続してください。

※ ノズル付蓋のノズルには「IN」側と「OUT」側があります。接続を逆にしないでください。逆にするとトラップ効率が低下します。

※ 真空ホースは付属品ではありません。別途手配してください。

ノズル外径17.3mm (UT-50・80・80S型) の場合は内径12mm、または15mmのホースを、ノズル外径22mm (UT-50L型) の場合は、18mmの真空ホースを使用してください。

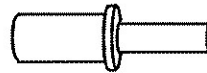
なお、オプションで異径ジョイント (真空ホースアダプター) も用意しています。

#### ■真空ホース (オプション)

規 格	長 さ	コードNo.
内径18×外径42mm	5m	119230
内径12×外径30mm	5m	119210
内径9×外径21mm	5m	119190

#### ■真空ホースアダプター (オプション)

型 式	接続口径	コードNo.
アダプター-A	22×17mm	119240
アダプター-B	17×13mm	119250
アダプター-C	17×10mm	119260
アダプター-D	22×13mm	119270



※ 接続する装置の真空接続口が異なる場合に使用してください。

### 4. 排気

真空ポンプスイッチをONにしてください。真空装置で発生した蒸気をトラップ槽内で補集します。

### 5. 装置の停止

#### 【UT-50・80・80S型】

- (1) 真空ポンプをOFFにしてください。
- (2) 装置を停止してください。
- (3) ノズル付蓋の「IN」、「OUT」のノズルから真空ホースをはずしてください。
- (4) トラップ内の氷を自然解氷、または湯水をかけて溶かしてください。溶けたらドレン栓を抜いてすべて排出してください。

#### 【UT-50L型】

- (1) 真空ポンプをOFFにしてください。
- (2) ノズル付蓋の「IN」、「OUT」のノズルから真空ホースをはずしてください。
- (3) 装置を運転した状態のままデフロストスイッチをONにしてください。  
※ONのまま放置しますと20分前後で自動停止します。

- (4) トラップ内壁より氷が離れたら氷を取出してください。またドレン栓を抜いて水をすべて排出してください。

※氷はゴム手袋等を着用して取出してください。

※トラップ内壁より氷が離れる時間は、使用周囲温度、運転条件等により異なります。

自動停止後も氷が離れない場合は、漏電ブレーカ、または冷凍機スイッチ、またはデフロストスイッチのいずれか一つをいったんOFFにし、再度ONにしてください。装置が運転を再開します。

- (5) 装置を停止してください。  
(デフロストスイッチ、冷凍機スイッチ、漏電ブレーカをOFFにしてください。)

#### 操作後の処置

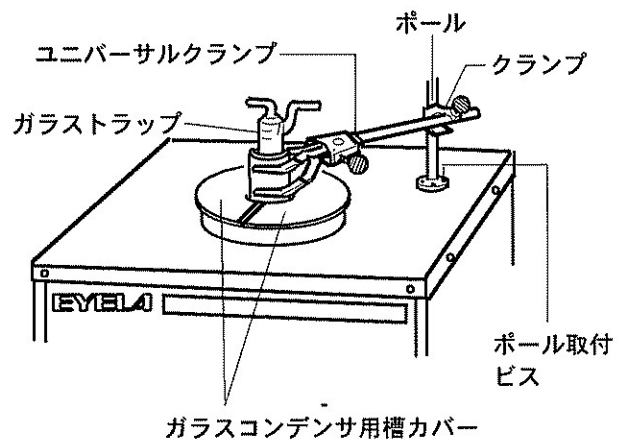
長時間使用しない場合には、漏電ブレーカをOFFにし、さらに電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

### 5-3 ガラスコンデンサセット（オプション）の使用方法

酸系や有機溶媒系に使用する場合は、オプションのガラスコンデンサセットを使用してください。

#### 1. ガラスコンデンサセットの組立て

- (1) ポール取付部に固定してあるビスを一旦外してからポールをビスで固定してください。
- (2) ガラスコンデンサをユニバーサルクランプで挟み込んでトラップ槽に入れクランプで固定してください。
- (3) トラップ槽に不凍液を入れてからガラスコンデンサ用槽カバーをセットしてください。



#### 2. 冷凍機の運転

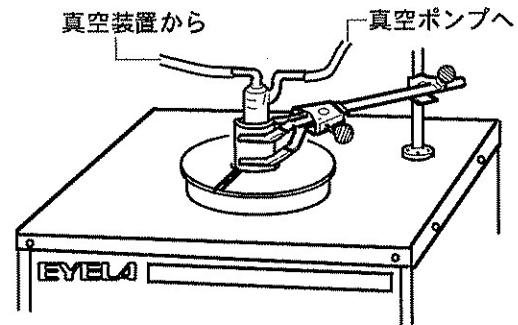
- (1) 漏電ブレーカをONにしてください。  
ONになると冷凍機ファン（UT-50型には冷却ファンはありません。）が作動します。
- (2) 冷凍機スイッチをONにしてください。  
冷凍機が作動します。

##### UT-50型・50L型

作動後約7分位でトラップ槽の冷却コイルが冷却を始めます。

##### UT-80・80S型

冷凍サイクルが一元側と二元側の2系列あります  
最初に一元側が作動し約7分後に二元側も作動します。  
冷却コイルは二元が作動するまで冷却を始めません。

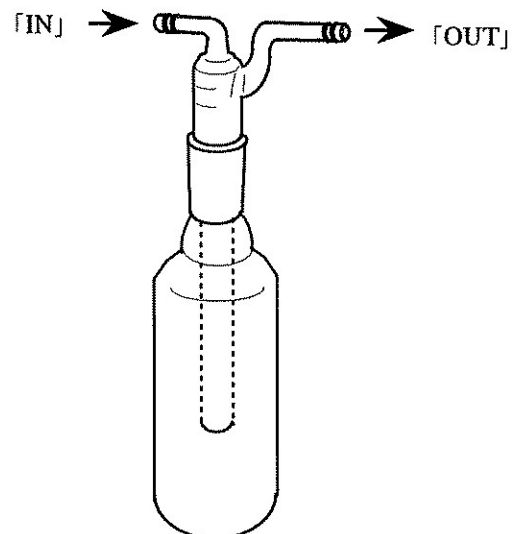


#### 3. 真空ホースの接続

ガラストラップの「IN」側は真空装置と、「OUT」側は真空ポンプとそれぞれ真空ホースで接続してください。

※ガラスコンデンサーが十分冷却されないうちに真空系と接続して吸引しないでください。  
トラップされない有害ガスで真空ポンプを損傷させる恐れがあります。

※ガラストラップの接続口径は13mmです。ご使用の真空ポンプと接続口径が合わない場合は、オプションの異径ジョイント（真空ホースアダプター）を使用してください。



#### 4.排気

真空ポンプスイッチをONにしてください。真空装置で発生した蒸気をガラスコンデンサ内壁で凝縮捕集します。

#### 5.装置の停止

- (1) 真空ポンプをOFFにしてください。
- (2) 装置を停止してください。
- (3) ガラスコンデンサから真空ホースをはずしてください。
- (4) ガラスコンデンサを取りだし、トラップした溶媒を処理してください。

#### 操作後の処置

長時間使用しない場合には、漏電ブレーカをOFFにし、さらに電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

#### ■真空ポンプ (オプション)

型 式	接続口径	コードNo.
GLD-050	外径18mm	118490
GLD-100N	外径22mm	118500
GLD-135N	外径22mm	118510
GLD-165N	外径22mm	118530
GLD-200N	外径22mm	118550
GCD-050XA	外径18mm	118560
GCD-135XAN	外径22mm	118570
GLD-200XAN	外径22mm	118600

※ GLD型は標準仕様でGCD型は耐食仕様です。

#### ■クランプセット (オプション)

No.	製 品 名	コードNo.
①	アーバー	143380
②	クランプ	
③	ユニバーサルクランプ	

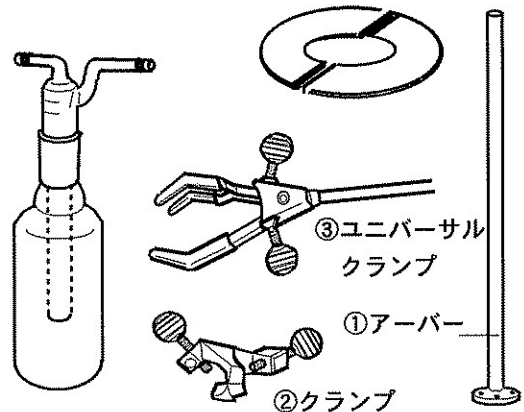
#### ■UT-50.80.80S用ガラスコンデンサセット (オプション)

No.	製 品 名	コードNo.
①	アーバー	113540
②	クランプ	
③	ユニバーサルクランプ	
④	ガラスコンデンサ	
⑤	ガラストラップ用槽カバー	

#### ■UT-50L用ガラスコンデンサセット (オプション)

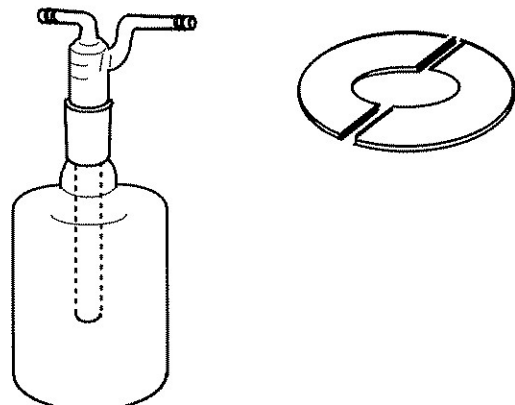
No.	製 品 名	コードNo.
①	アーバー	181830
②	クランプ	
③	ユニバーサルクランプ	
⑥	ガラスコンデンサ	
⑦	ガラストラップ用槽カバー	

④ガラスコンデンサ (除湿量 300m $\phi$ ) ⑤ガラストラップ用槽カバー



⑥UT-50L用ガラスコンデンサ (除湿量 1800m $\phi$ )

⑦ガラストラップ用槽カバー



## 6 | トラブルの原因と対策

記載以外のトラブルにつきましては ご購入先またはお近くのサービスセンターへご連絡ください。

状 況	原 因	対 策
漏電ブレーカをONにしようとしてもすぐにOFFになってしまう。	過電流が流れている。	すぐに運転を中止し、ご購入先またはお近くのサービスセンターに連絡してください。
	漏電している。	
冷凍機スイッチをONにしても動作しない。	電源が供給されていない。	配電盤のブレーカをONにしてください。
	電源プラグがコンセントから抜けている。または確実に差込まれていない。	パワースイッチをOFFにしてから電源プラグをコンセントに差込んでください。
	漏電ブレーカがOFFになっている。	漏電ブレーカをONにしてください。
	漏電ブレーカが故障している。	すぐに運転を中止し、ご購入先またはお近くのサービスセンターに連絡してください。
	冷凍機スイッチが故障している。	
	冷凍機が故障している。	
冷えない。 (冷えが悪い。)	フィルターの目詰り。	フィルターを清掃してください。
	冷却液の熱負荷が大きい。	熱負荷を軽減してください。
	周囲温度が高い。(30℃を超えている) (UT-50型の場合は35℃)	設置場所を変えてください。
	通風口周辺がふさがれている。	通風口の風通しをよくしてください。
	ガスがリークしている。	すぐに運転を中止し、ご購入先またはお近くのサービスセンターに連絡してください。

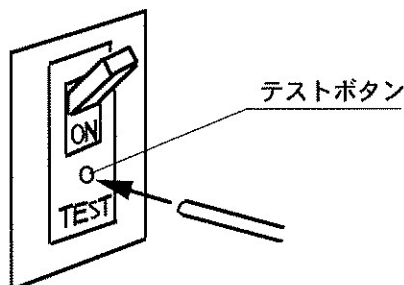
## 7 保守・点検

### 7-1 漏電ブレーカの動作テスト

#### ⚠ 注意

漏電ブレーカの動作テストを行なうこと。

漏電ブレーカが動作不良の状態で使用しますと、漏電したとき感電事故を起こす恐れがあります。  
動作テストを月1回以上行なってください。



電源プラグを差込み、ブレーカがONの状態ではブレーカのテストボタンを細い棒で押してください。ブレーカが動作して、OFFになれば正常です。

### 7-2 製品の清掃、お手入れ

#### ⚠ 警告

装置を分解しないこと。

装置内部には、電圧がかかっているところや、高温になるところ等がありますので、分解すると感電、けがの恐れがあります。

#### ⚠ 注意

【UT-50L・80・80S型】

冷却フィンに素手で触れないこと。

保守作業時に冷却フィンに素手で触れないでください。冷却フィンは鋭利なため手を切る恐れがあります。

#### ⚠ 注意

製品の清掃、手入れは適切な方法、用品を使用すること。

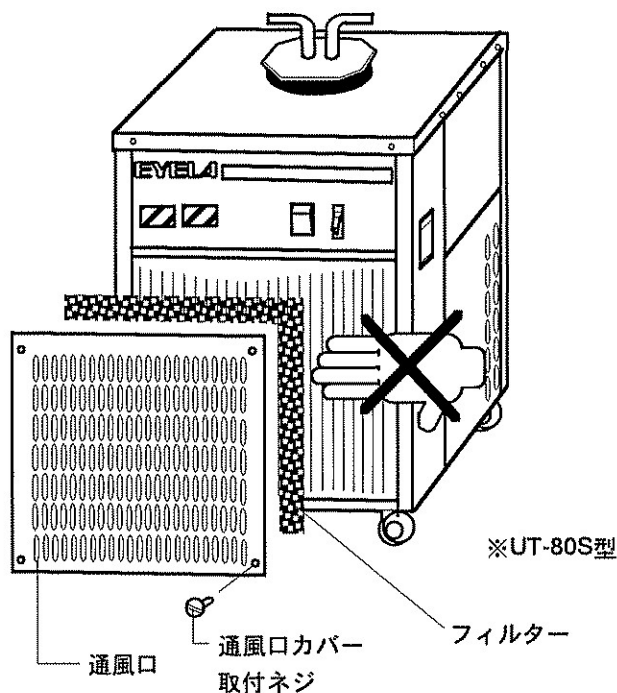
製品を清掃、お手入れする際は外装や内部に直接水をかけたり、クレンザー（磨き粉）、シンナー、石油、灯油、酸、およびこれに類するものは、絶対に使用しないでください。感電事故や、製品を損傷する恐れがあります。

お手入れは、パワースイッチ、漏電ブレーカをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

## 1. 冷凍機フィルターの清掃【UT-50L・80・80S型】

フィルターが目詰まりしますと冷却性能が低下します。また冷凍機の故障の原因にもなります。フィルターの目詰まり状態は周囲環境や、使用時間によって異なりますので使用条件に合わせて、定期的にフィルターを掃除してください。

- (1) 通風口カバー取付ネジ（4本）を緩めて通風口カバーを本体からはずしフィルターを取り出してください。
- (2) フィルターを軽くたたいてゴミを除去してから水洗いしてください。  
(汚れのひどいときは、中性洗剤で洗ってください。)
- (3) 洗い終わりましたら良く乾燥させてください。乾燥時にドライヤー等を使用しないでください。熱により溶けることがあります。
- (4) 清掃が終了したら、逆の手順で取付けてください。



## 2. 製品の清掃

本体の清掃は、水を硬く絞った柔らかい布で拭いてください。取れにくい汚れは中性洗剤を使用し、洗剤の使用後は布で拭き取ってください。



## 8 製品の廃棄

製品または部品を廃棄する場合には、廃棄方法に従った廃棄処分をお願いします。

### 主な構成部品と廃棄方法

構成部品	規格・仕様	総重量	外寸法 (mm)	廃棄方法
本体	UT-50型	約26kg	306幅×355奥行×700高さ	廃棄物引取り業者に依頼して廃棄処分を行なってください。
	UT-50L型	約50kg	405幅×455奥行×852高さ	
	UT-80型	約56kg	405幅×695奥行×550高さ	
	UT-80S型	約56kg	405幅×500奥行×717高さ	
冷凍機 封入冷媒	UT-50型 (フロンガスR22)	約150g		フロンガスの処理は専門業者にご依頼ください。
	UT-50L型 (フロンガスR22)	約400g		
	UT-80・80S型 一元側 (フロンガスR22) 二元側 (フロンガスR23)	約400g 約200g		

※梱包材は材質ごとに分別して廃棄するよう、お願いいたします。

## 9 アフターサービス

- 調子が悪いときは、トラブルの原因と対策の頁を参考にして故障かどうかをまずチェックしてください。
- それでも具合の悪いときは、ご購入先または取扱説明書に記載のお近くのサービスセンターに修理をご依頼ください。
- 保証期間中の修理は保証規定に基づき修理致します。
- 保証期間経過後の修理は、ご要望により有料修理致します。

### 保証規定

- 保証期間内（お買い上げの日より1年間）に取扱説明書に基づく正常な状態において故障した場合は無料で修理致します。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理となります。
  - 使用上の誤りあるいは不当な改造による故障。
  - お買い上げ後、設置場所移動時の落下等による故障。
  - 火災、地震、風水害、雷、塩害、その他の天災による故障。
  - 消耗品の交換。
  - 保証書の提示がない場合。

保証書は下記の欄に貼り付けて保存してください。

ノリ付け部分